

四極会寄附講義「会社研究」令和4年度 第5回目

令和4年5月18日(水) 13時10分

講師 大分みらい信用金庫

理事長 森田 展弘 氏(大学27回)

テーマ 「地域の活性化と求められる人材像」

今回は、大分大学経済学部と同様に創立100周年を迎えられる大分みらい信用金庫の創業時の紹介と信用金庫の金融業界における位置づけや特徴などの説明に加え、県内金融機関における大分みらい信用金庫の位置づけなどの説明もありました。



大分みらい信用金庫は、経営支援、創業支援、事業承継支援、個人へのライフプランニング支援などの各種支援はもちろん、地域活性化や地方創生などの大きな課題にも取り組んでおられます。この地域課題に対しどのように取り組んでいるか、SDGsと関連付けて説明がありました。

地域づくりでは、「寄り添い」(相手のことを理解するための常日頃からの関係性の保持)、「連携」(相手の悩みを解決できる方法を見つけるための人脈ネットワークの拡大)、最後に最も大切な「一生懸命」が求められる人材像のキーワード

ードとして挙げられました。

地域づくりの起点となるものは、住民、行政、教育機関、NPO、町内会、企業などですが、これらのネットワークが強固になるほど地域力が発揮されるということであり、これに取り組む地域リーダーになってほしいと学生に話されました。

最後に、知識よりも、才能よりも、「情熱にまさる能力なし」との安岡正篤先生の言葉で締めくくられました。

以 上